

科目概要 《演習科目》

医療・福祉マネジメント研究科

医療・福祉マネジメント専攻 修士課程

◆ 医療・福祉マネジメント専攻 修士課程

□ 演習科目 (基礎科目)

科目名	基礎演習	2単位
担当者	末盛慶、横山由香里、篠田道子、中島民恵子、柳在相	
テーマ	論文の読解力や文章作成能力、プレゼンテーション能力など、高度専門職業人に求められる知識とスキルを身につける。	
科目のねらい	＜キーワード＞ 文献検索、レビュー論文、研究計画書、文章作成能力、プレゼンテーション能力、多職種連携教育、ケースメンツッド	
	＜内容の要約＞ 社会福祉領域、医療福祉サービス領域、医療・介護・福祉経営領域の3領域に共通し、かつ、研究者にも高度専門職業人にも求められる基礎的能力の開発を目的とする。 研究手法論についての統一導入講義で研究方法を、文献検索の演習やレビュー論文(多数の先行研究を集め批判的に検討を加える論文)の執筆準備過程で、情報を集め批判的に「読む力」を身につける。研究計画書の添削やレビュー論文の書き方についての統一導入講義を通じて「書く力」を鍛える。また、ケースメンツッド演習で、多様な立場、異なる背景を持つ院生が参加する討論を体験する。そこにおける Inter Professional Education(専門職種連携教育)を通じ、多職種で構成される医療福祉現場における集団運営に必要な、相互理解の視点や「プレゼンテーション能力」「コミュニケーション能力」を鍛えることを目的とする。	
	「研究方法の学習と論文を書くこと」と「ケースメンツッド演習」の両方を経験することで、年度末に、2年次のコースを、「特別研究(修士論文)」と「実践研究(ケースメンツッド演習+特別課題報告3本)」のどちらにするか、選択の判断材料を提供することも目的とする。	
	＜学習目標＞ ・先行研究や事例を幅広く収集し、課題を発見・設定し、事実や根拠に基づいて、自ら設定した課題の妥当性を説明できる。 ・事実や根拠を提示しつつ、求められた形式に沿って論理的に文章をまとめることができる。 ・多職種連携教育の知識・価値・スキルを理解できる。	
	研究方法や論文の書き方に関する統一導入講義や文献検索の演習などは、3領域合同で行う。研究計画書の添削は、3領域別に進める。ケースメンツッド演習では、全体でのオリエンテーションの後、小グループで討論を行い、その後全体討論を行う。基礎演習は、年間スケジュール(別紙参照)に示した金曜日に配置する。	
授業の進め方		
事前学習の内容 学習上の注意	ケースメンツッド演習では、事前に配布したケース教材を読み、課題シートに自分の考えをまとめ、グループ討議や全体討議で発言できるように準備しておくこと。 研究計画書の添削を2回実施する。あらかじめ指定された日までに研究計画書を作成しておくこと。	
本科目の 関連科目	研究基礎	
成績評価 方法と基準	提出された研究計画書における先行研究レビュー(50%)、ケースメンツッド演習(50%)：1回ごとの課題シートの提出と討論への参加状況によって総合的な評価を行い、全体で60%以上を合格とする。	

□ 演習科目 (専門科目)

科目名	専門演習Ⅰ	4単位
担当者	【社会福祉領域】 末盛慶、藤森克彦、山口みほ 【医療福祉サービス領域】 篠田道子、中島民恵子、横山由香里、渡辺崇史 【医療・介護・福祉経営領域】 橋口徹、李忻、柳在相、若山雅博	
開講形態	社会福祉領域、医療福祉サービス領域：全回対面形式 医療・介護・福祉経営領域：全回ハイブリッド形式	
テーマ	保健医療福祉専門職に共通するジェネリックな実践力や共通言語を身につける	
科目のねらい	＜キーワード＞ 【社会福祉領域】 社会福祉実践、ソーシャルワーク、フィールド調査、研究方法、研究計画作成 【医療福祉サービス領域】 マネジメント、ジェネリックな実践力、フィールド調査、研究計画書 【医療・介護・福祉経営領域】 経営管理、資料収集方法、研究計画書、研究方法 ＜学習目標＞ 内容の要約＞ 【社会福祉領域】 ・社会福祉領域の現状について多面的に分析し、批判的な考察ができる。フィールド調査のプロセスを理解し、調査報告書が作成できる。 ・多様な情報を収集・分析・整理して、レビュー論文を作成できる。 ・自らの考えや問題意識を明確にし、研究計画書を作成できる。 【医療福祉サービス領域】 ・フィールド調査のプロセスについて多面的に分析し、課題を発見・設定し、解決に必要な情報収集ができる。 ・フィールド調査のレポートを理解し、調査報告書が作成できる。 ・研究テーマを明らかにし、研究計画書を作成することができる。 【医療・介護・福祉経営領域】 ・自らの問題意識を明確にし、研究に必要な資料を収集して分析できる。 ・研究論文の構成などが理解でき、研究計画書を作成することができる。 ・論文執筆のために必要な研究方法論を理解することができる。	
	【専門演習Ⅰ】 社会福祉領域、医療福祉サービス領域および組織、人材マネジメント領域を選択した1年生を対象に、フィールドワークなどを採り入れた院生参加型の演習形式の授業を行い、保健医療福祉専門職に共有して求められるジェネリックな実践力や共通言語を身につけることをねらいとする。修士学位請求論文の作成の基礎作業として、研究計画書の作成や小論文執筆に向けた集団指導を行う。	
	【社会福祉領域】 テーマ：「ソーシャルワークの視点と研究の進め方の理解」 社会福祉領域、医療福祉サービス領域および組織、人材マネジメント領域を選択した1年生を対象に、フィールドワークなどを採り入れた院生参加型の演習形式の授業を行い、保健医療福祉専門職に共有して求められるジェネリックな実践力や共通言語を身につけることをねらいとする。修士学位請求論文の作成の基礎作業として、研究計画書の作成や小論文執筆に向けた集団指導を行う。	
	【医療福祉サービス領域】 テーマ：「保健医療福祉サービスのマネジメント」 保健医療福祉サービスのマネジメントについて、政策から臨床レベルまで、幅広い領域を扱う。保健医療福祉の政策動向や、新たな展開を見せる地域包括ケアシステムと多職種連携に着目しつつ、介護予防、医療機関、高齢者施設、教育機関、住宅サービス、NPOなど各様の事業所のマネジメント・複雑なニーズを抱える利用者のケアマネジメントやリハビリテーションの諸課題を研究する。	
	【医療・介護・福祉経営領域】 テーマ：「医療福祉マネジメントの研究手法と研究計画Ⅰ」 社会福祉領域、医療福祉サービス領域および医療・介護・福祉経営領域を選択した1年生を対象に、フィールドワークなどを採り入れた院生参加型の演習形式の授業を行い、保健医療福祉専門職に共有して求められるジェネリックな実践力や共通言語を身につけることをねらいとする。修士学位請求論文の作成の基礎作業として、研究計画書の作成や小論文執筆に向けた集団指導を行う。	
授業の進め方	別紙参照	
事前学習の内容 学習上の注意	【社会福祉領域】 ・次回授業に向けて担当教員から提出された課題についてレジュメを作成・人数分を準備する。 ・各自が各自の指導内容について振り返りをし、自分の研究に反映させる。 【医療福祉サービス領域】 ・研究計画書や草稿論文の添削指導を月1回実施する。そのため、定められた期日までに、研究計画書や草稿論文を提出すること。 ・演習形式で授業を進めるため、与えられた課題については個人で事前に調べること。 【医療・介護・福祉経営領域】 ・研究計画書等の添削指導等を実施する予定なので、定められた期日までに研究計画書等の草稿を提出すること。 ・各自の担当教員の指導内容について振り返りを行い自分の研究に反映する試み・工夫を行うこと。	
本科目の 関連科目	【社会福祉領域】 ソーシャルワーク論、ケアマネジメント論、スーパービジョン論、精神保健福祉論、研究方法概論 【医療福祉サービス領域】 保健・福祉サービスマネジメント論 【医療・介護・福祉経営領域】 経営管理概論、医療福祉政策編、会計学、人材マネジメント	
成績評価 方法と基準	演習でのディスカッションへの参加状況(25%)、添削指導の対象となる研究計画書と小論文(50%)、発表会での口頭発表と質疑での応答状況(25%)を評価し、担当教員で協議の上、総合的に評価する。全体で60%以上を合格とする。	

□演習科目(専門科目)

専門演習Ⅱ		4 単位	
科目名	【社会福祉領域】 末盛 慶、藤森亮彦、山口みほ 【医療福祉サービス領域】 篠田道子、中島民恵子、横山由香里、渡辺崇史 【医療・介護・福祉経営領域】 樋口徹、李忻、柳在祖、若山雅博		
担当者	社会福祉領域、医療福祉サービス領域：全回対面形式 医療・介護・福祉経営領域：全回ハイブリッド形式		
開講形態	各領域のスペシフィックな力を高め、修士学位請求論文を計画的に執筆する		
テーマ	＜キーワード＞ 【社会福祉領域】 社会福祉実践、研究方法、論文構成 【医療福祉サービス領域】 多職種連携教育、研究計画書、論文草稿 【医療・介護・福祉経営領域】 医療福祉経営、研究枠組み、論文構成 ＜学習目標・内容の要約＞ 【社会福祉領域】 ・社会福祉に関する有意義なテーマを設定・研究し、論文を作成できる。 【医療福祉サービス領域】 ・医療福祉サービスに関する有意義なテーマを設定・研究し、論文を作成できる。 【医療・介護・福祉経営領域】 ・医療福祉経営に関する有意義なテーマを設定・研究し、論文を作成できる。 ・自らの考えを明確かつ論理的に組み立てて他社に説明し、意見交換できる。		
科目のねらい	専門演習Ⅱ 社会福祉領域、医療福祉サービス領域および医療福祉経営領域を選択した2年生を対象に、演習Ⅰでの演習やフィールドワークなどを通じて養成されたジェネリックな力を踏まえ、各領域のスペシフィックな力を高めることをねらいとする。修士学位請求論文の提出に向けた研究計画書や論文草稿の添削指導、各種の研究発表会における発表と質疑、運営などを含めた演習形式の授業を行う。		
	【社会福祉領域】 テーマ：「ソーシャルワークの視点と研究の進め方の理解」 超高齢社会に対応する多様な分野での社会福祉実践を、ケースワークとコミュニケーションの両面から、理論的に研究する。複雑多様化する社会福祉領域における研究を進める。具体的には、福祉・医療の連携による社会福祉実践やスーパービジョン、社会福祉専門職の専門性、高齢者介護と子育てを包括するコミュニケーション・小規模多機能施設、家族やエンジェンダー等、個々のテーマの研究を完成させる。		
	【医療福祉サービス領域】 テーマ：「保健医療福祉サービスのマネジメント」 保健医療福祉サービスのマネジメントについて、政策から臨床レベル、予防から終末期までの幅広い領域を扱う。保健医療福祉の政策動向や、地域包括ケアシステムと多職種連携に着目しつつ、医療機関や高齢者・障害者施設等の事業所マネジメント、ソーシャルケアと健康社会、認知症ケア、広義のリハビリテーション、困難な課題を抱える人の地域マネジメントを理論的・実証的に研究する。		
	【医療・介護・福祉経営領域】 テーマ：「医療福祉マネジメントの研究手法と研究計画Ⅱ」 医療福祉組織におけるマネジメントに関して、演習形式で専門的に研究することを目的とする。同じ領域を学ぶ院生が、定期的な顔を合わせせる機会を提供することで、互いに研究の進捗状況を報告し合い、情報交換ができるグループ学習と共同研究のための小集団を形成することも目的とする。修士学位請求論文の提出に向けた研究計画書や論文草稿の添削指導、各種の研究発表会における発表と質疑などを含めた演習形式の授業を行う。		
	別紙参照		
授業の進め方	【社会福祉領域】 ・次回授業に向けて担当教員から提出された課題についてレジュメを作成・人数分を準備する。 ・各自が各回の指導ノートを作成・持参して振り返りをする。		
事前学習の内容 学習上の注意	【医療福祉サービス領域】 ・研究計画書や草稿論文の添削指導を月1回実施する。そのため、定められた期日までに、研究計画書や草稿論文を提出すること。 ・演習形式で授業を進めるため、与えられた課題については個人で事前に調べること。 【医療・介護・福祉経営領域】 ・研究計画書等の添削指導等を実施する予定なので、定められた期日までに研究計画書等の草稿を提出すること。 ・各回の担当教員の指導内容について振り返りを行い、自分の研究に反映する試み・工夫を行うこと。		
本科目の 関連科目	【社会福祉領域】 なし 【医療福祉サービス領域】 なし 【医療・介護・福祉経営領域】 なし		
成績評価 方法と基準	演習でのディスカッションへの参加状況（25%）、添削指導の対象となる研究計画書と小論文（50%）、発表会での口頭発表と質疑の多寡う状況（25%）を評価し、担当教員で合議の上、総合的に評価する。全体で60%以上を合格とする。		

◆医療・福祉マネジメント専攻 修士課程

□演習科目(専門科目)

科目名	ケースメソッド演習		2 単位
担当者	篠田道子、中島民恵子、木村圭佑（非常勤教員）		
テーマ	ケースメソッド授業を運営し、討論から学ぶ価値を理解する。		
開講形態	全回ハイブリッド形式		
科目のねらい	＜キーワード＞ ケースメソッド、ファシリテーションスキル、マネジメント、ディスカッションリード計画、ケース教材、学びの共同体 ＜内容の要約＞ 多様な立場、異なる背景を持つ院生が、ケース教材等を使った討論を通じ、実践力（理論的知識と実践的な知見）の向上を目指す。医療福祉現場における集団運営に必要なコミュニケーション能力、多面的な問題分析力や解決策の提案、マネジメントやファシリテーション能力を開発することを目的とする。また、ケースメソッド演習の特徴である双方向性、創発性、協働性を十分に引き出し、学習者の実践力を育むために、クラス内で「学びの共同体」が作れるよう、参加者と教員は努力することが求められる。 ＜学習目標＞ ・ディスカッションリード計画を作成し、ファシリテーションスキルを活用することで、ケースメソッド授業を運営できる。 ・多面的な問題分析力や解決策の提案、批判的考察力などを身につける。 ・討論から学ぶ価値が理解できる。		
	【社会福祉領域】 医療保健福祉サービスの供給主体としての地方自治体、非営利組織のマネジメントについて、ケース教材を用いて検討する。具体的には、地域で発生している社会的排除等の福祉問題の解決方法、地域福祉計画や地域住民参加など、地域福祉システムの経営、運営、開泰の視点から検討する。 【医療福祉サービス領域】 医療福祉サービスにおける支援の過程、チームやネットワーク、組織運営などについてケース教材を用いて検討する。医療機関・福祉施設・在宅サービス・民間組織でのミドルマネジメントの役割やファシリテーションのあり方を考える。 【医療・介護・福祉経営領域】 社会福祉施設や医療機関、小規模事業所のマネジメント（管理・運営・経営）を取り扱ったケース教材を用いて、組織における意思決定やリスクマネジメント、人材育成など幅広い視点からマネジメントを考える。		
	授業日：4月12日（オリエンテーション・ケース1）、4月26日（ケース2）、5月17日（ケース3）、6月7日（ケース4：ケース教材の試運転）、6月21日（ケース5）、9月20日（ケース6）、10月11日（ケース7）、11月1日（6限のみ・まとめ） 授業の運営方法：①個人学習、②グループディスカッション、③クラスディスカッション、④振り返りの4段階とする。 開講形態：ハイブリッド授業を基本とする。具体的な進め方は授業の初日に説明する。ただし、ディスカッションリードまたはボードライティング（板書）を担当する院生は、名古屋キャンパスに参集すること。		
	・事前に配布したケース教材を読み、課題シートに自分の考えをまとめ、グループ討議で発言できるように準備しておくこと ・ディスカッションリードとボードライティングを担当する院生は、「ディスカッションリード計画」「ボードライティング計画」を作成するので、担当教員と事前に相談すること。		
	事前学習の内容 学習上の注意		
	本科目の 関連科目	基礎演習（ケースメソッド演習）	
	成績評価方法 と基準	1．平常点（70点）：討論への参加状況（場作りの貢献度や積極的な発言など）、課題シートの提出状況を勘案して総合的に評価する。 2．その他（30点）：2つの方法から選択する。①ケース教材の執筆。ケースとして提出されたものは「ケース教材の試運転」を経て、次年度以降の授業で活用することも想定している。②ディスカッションリードやボードライティングのいずれかを経験する。詳細は授業初日に説明する。	